

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年10月18日時点)

▶ **ウクライナ軍**が南部及び東部の露軍に対する攻撃を強化する一方、**露軍**は、各正面において**防御戦闘を実施**するとともに、各地の**軍事・非軍事施設**に対する攻撃を継続している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT8月18日)  
: 死者約20万8,000人 (「ウ」軍東部作戦管区報道官6月3日)  
「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT8月18日)  
: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)  
「ウ」市民: 死者9,701人以上、負傷者1万7,748人以上 (UNOCHA9月24日)

- 「ウ」軍当局は、10月10日以降、露軍が東部アウディウカに対し、**2022年2月の侵攻開始以来最大規模の攻撃**を仕掛けていると指摘(10月12日)
- アウディウカ市「ウ」軍事行政長官は、「4日間にわたり激戦が絶え間なく続いている」とし、「**ロシア軍は正面攻撃ではなく、市の南と北からの側面攻撃に集中しており、[アウディウカ]包囲を試みている**」と指摘(10月13日)
- 「ウ」陸軍司令官は、**クピャンスク-リマン戦線**について、**戦闘が「著しくエスカレートしている」と評価**(10月16日)
- ザポリヅジャ州知事は、**ザポリヅジャ市に対する露軍による空爆**があり、1名が死亡と発表。一方、露側のザポリヅジャ州当局幹部は、「ウ」軍が夜間にザポリヅジャ州を空爆したとして非難(10月18日)

- NATO本部で「ウ」防衛コンタクトグループ第16回会合が開かれ、対「ウ」長期支援策の一環として、希望国が**各主要分野ごと(防空、機甲等)に連合を組織し、「ウ」軍の能力強化を支援する「能力諸連合(capability coalition)」**構想を議論。米国防長官は、「ウ」軍のニーズは引き続き**防空と弾薬**であると指摘(10月11日)
- 米欧州アフリカ陸軍報道官は、供与予定であった**米戦車「M1A1エイブラムス」×31両全てがウクライナに到着したと発表**(10月16日)



- 「ウ」海軍報道官は、「ウ」保安庁と協力し、セヴァストポリ近郊で「ウ」海軍の無人実験兵器により、11日に**露巡視船「パーヴェル・デルジャヴィン」**を、13日に**ミサイル艇「ブヤン」**を攻撃したと発表(10月13日)。また、13日の攻撃で**露海軍タグボート「プロフェツソル・ニコライ・ムル」**が損傷と発表(10月14日)
- 米当局は、米国が「ウ」に**射程165kmのATACMSを供与**したと発表。同日、ゼレンスキー大統領は、「ATACMSはとても正確で、その能力を証明した」として、「ウ」軍が**ATACMSを使用したことを示唆**(10月17日)
- 米CNNは、米当局者の話として、「ウ」軍がATACMSを用いて**南部ベルジャンスクと東部ルハンスクの飛行場を攻撃**したと報道(10月17日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源:ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等